

I-O DATA

取扱説明書

MANU001013

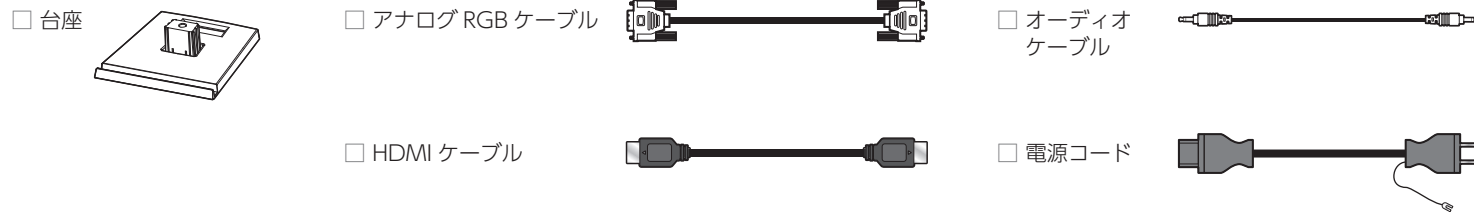
保証書は添付しておりません

修理の際には、購入日の証明（レシート・納品書など）が必要です。
大切に保存してください。

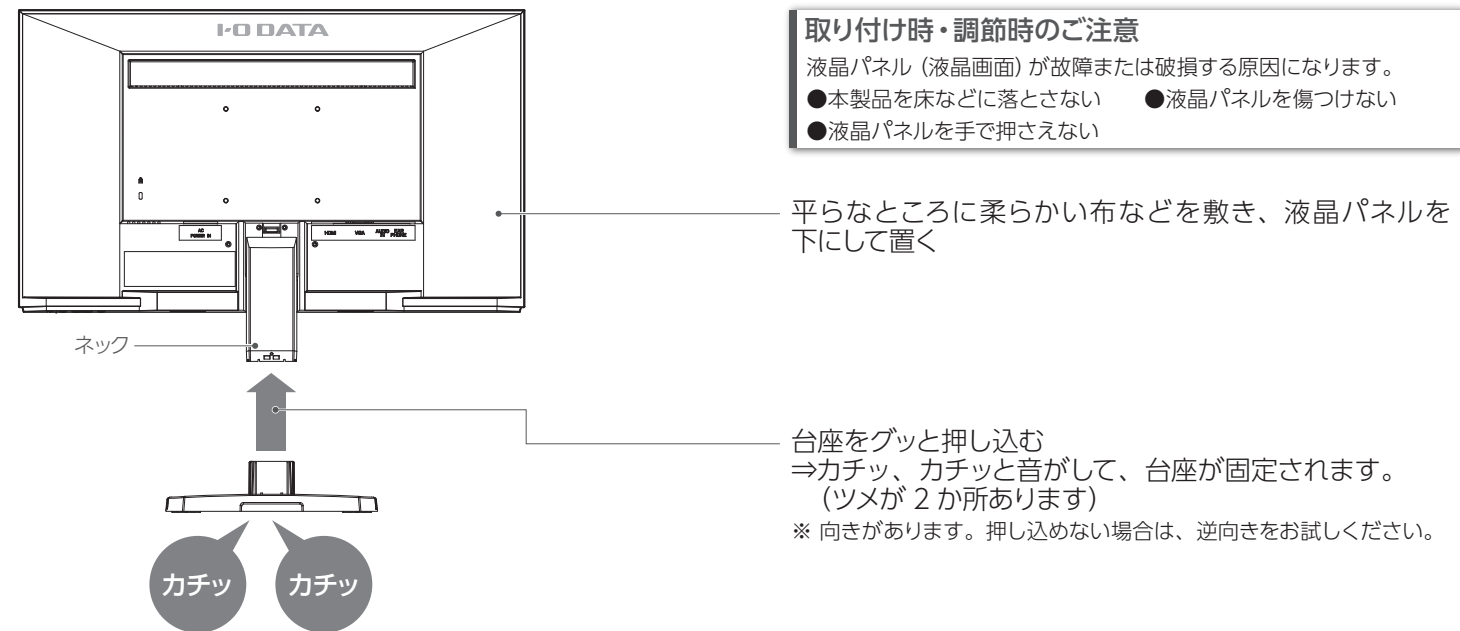
表面	裏面
●添付品を確認する ●台座を取り付ける ●つなぐ ●使う ●安全のために ●使用上の注意	●困ったときには ●アフターサービス ●ハードウェア保証規定 ●液晶ディスプレイの回収・リサイクル

23.8型 ワイド液晶ディスプレイ
LCD-AH241シリーズ

添付品を確認する

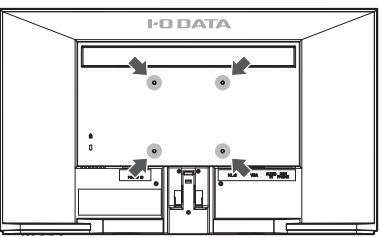


台座を取り付ける



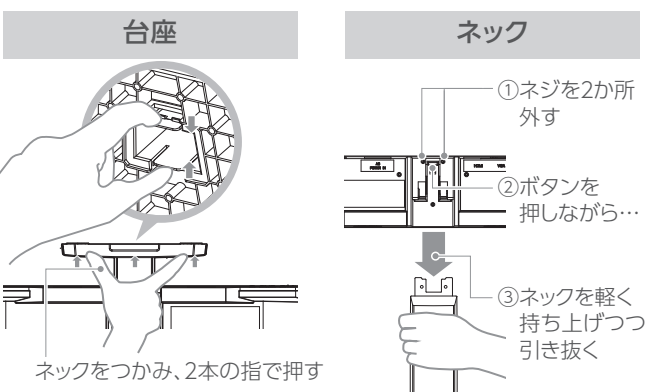
モニターアーム（VESA）に取り付ける方法

- 固定用ネジ:M4×10mm（モニターアームの金具の厚みにより異なる）
- 本製品質量:約3.3Kg（ネック・台座除く）
- VESAマウントインターフェース:100mm×100mm
- 締付けトルク:0.9～1.1N・m（9～11kgf・cm）
- 最大上下傾き:上20°、下5°



※ドライバーを使ってネジを締付けてください。スパナなど他の工具で締付けると、ネジ穴が破損する恐れがあります。

台座とネックを取り外す方法



つなぐ

1 パソコンや映像機器とつなぐ



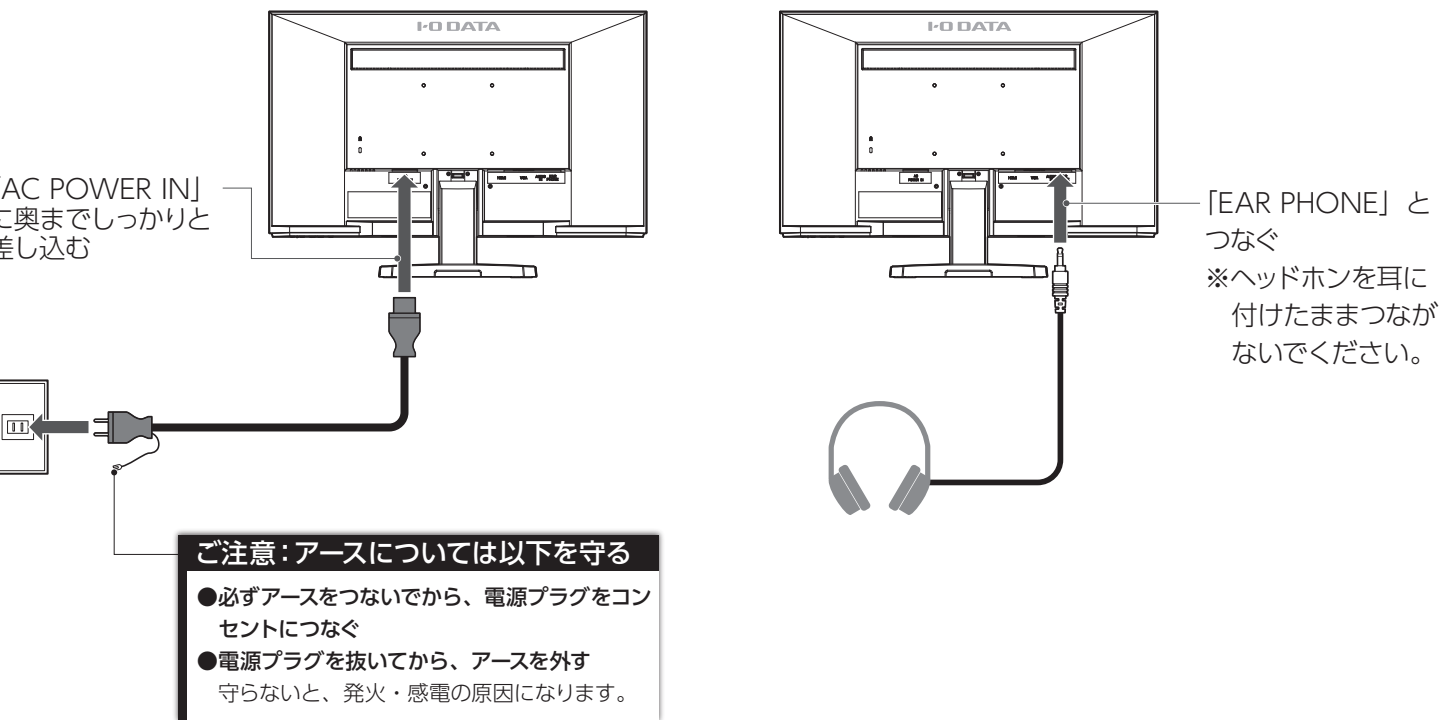
解像度

本製品は、最大解像度 1920x1080 (60Hz) に対応しています。

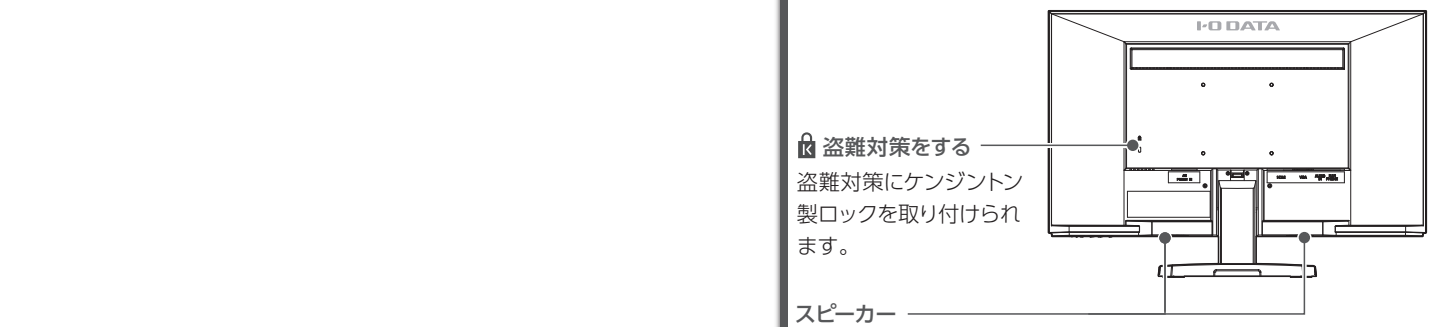
VGA につないだ場合

オーディオケーブルを、パソコンの音声出力と本製品の「AUDIO IN」につないでください。

2 電源コンセントとつなぐ



その他の機能について



使う

ボタンの操作方法

ボタンはマークの下にあります。
右手を画面の下側に回し、人差し指などで操作します。

右手でマークの下にあるボタンを操作

詳細な設定をする（スタートメニュー）

- ① 電源以外のボタンの内、どれかを押します。
- ② [メニュー] のボタンを押します。
⇒ スタートメニューが開きます。
- ③ [メインメニュー] を選んで、[決定] のボタンを押します。
メインメニューでは、詳細な設定ができます。

お気に入り機能

本製品には、よく使う設定項目を「お気に入り」として登録する機能があります。

「お気に入り」として登録した設定項目はスタートメニューに表示され、メインメニューを開くことなく呼び出すことができます。

◆お気に入りを登録するには
スタートメニューからメインメニューを開き、登録したい項目で「決定」のボタンを3秒間押し続けます。

メニュー操作を無効化する（メニューロック）

左から2番目のボタンを3秒間押し続けます。
解除も同様の操作でできます。

設定については、「詳細ガイド」をご覧ください

https://www.iodata.jp/lib/manual/lcd_229234/

表示する映像を切り換える

- ① 電源以外のボタンの内、どれかを押します。
- ② [入力切換] のボタンを押します。
⇒ 「HDMI」と「アナログ (VGA)」が交互に切り換わります。

音量を調節する

- ① 電源以外のボタンの内、どれかを押します。
- ② [音量] のボタンを押します。
- ③ 音量を調節します。

画面の明るさ（輝度）を調節する

- ① 電源以外のボタンの内、どれかを押します。
- ② [輝度] のボタンを押します。
- ③ 輝度を調節します。

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

▼ 警告および注意表示	▼ 絵記号の意味
警告 この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。	禁止
注意 この表示の注意事項を守らないと、けがをしったり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。	指示を守る

警告	注意
本製品を修理・分解・改造しない 発火や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。	本製品の取り付け、取り外し、移動の際は、必ず先にパソコン本体・周辺機器および本製品の電源を切り、コンセントから電源コードを抜く 電源コードを抜かずにおこなうと、感電の原因になります。
雷が降り出したら、本製品や電源コードには触れない 感電の原因になります。	梱包用のビニール袋や取り外した小さな部品（ネジなど）を乳幼児の手の届くところに置かない ビニール袋がこぼれたり、小さな部品を誤って飲み込んだりすると、窒息の原因になります。
本製品をぬらしたり、水気の多い場所 で使わない 水や洗剤などが本製品にかかる、隙間からしみ込み、発火・感電の原因になります。	熱線露のそばに設置しない 電源コード被覆が破れ、発火や感電、やけどの原因になります。
添付の電源コードは、他の機器につながない 発火や感電の原因になります。添付の電源コードは、本製品専用です。	本製品の周辺に放熱を防げるような物を置かない 発火の原因になります。
電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使わない 電源コードから発煙したり、発火の原因になります。	AC100V (50/60Hz) 以外のコンセントにつながない 発熱、発火の原因になります。
じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない 発火の原因になります。	煙が出たり、変な臭いや音が出たら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く そのまま使うと発火・感電の原因になります。
高所に設置しない 万が一本体もしくは部品が落下した場合、けがの原因になります。	接地接続について以下を守る 接地接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。 また接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

使用上の注意

■設置箇所について

高所に設置しないでください。万が一本体もしくは部品が落下した場合、けがの原因になります。

■画面の焼き付きを防ぐために

- 同じ画面を長時間表示させていると画面の焼き付きを起こすことがあります。
- パソコンやディスプレイを使用しないときは電源を切る。
- なるべく、省電力機能またはスクリーンセーバー機能を使う。

■お手入れ方法

本製品についた汚れなどを落とす場合は、電源コードを抜いてから、柔らかいきれいな布で軽く乾拭きしてください。

- 汚れがひどい場合は、水で十分に薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に乾いた布で拭いてください。
- ペンジン、シンナー、アルコール、消毒薬、化学ぞうきん、クリーナー/クリーニングペーパーなどは使わないでください。
- 変質やひび割れなどの原因になります。
- 液晶パネルに水滴などをつけたまま放置しないでください。水滴などがついた場合はすぐに乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
- 放置しておくで液晶パネルが変色したり、シミの原因になります。また、水分が内部へ入ると故障の原因になります。

■バックライトについて

本製品に使用しているバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、新しい液晶パネルへの交換が必要です。

※ご自分での交換は絶対にしないでください。交換等につきましては、弊社サポートセンターへお問い合わせください。

※液晶パネルは非常に高価です。有料による液晶パネル交換は高額になることをあらかじめご了承ください。

- ゆるいコンセントにつながない
電源プラグは、根本までしっかりと差し込んでください。根本まで差し込んでみてもゆるみがある場合にはつながないでください。発熱して発火の原因になります。
- 電源コードにものをせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはない
電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。電源コードの芯線（電気の流れるところ）が断線したり、ショートし、発火・感電の原因になります。
- 電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない
電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードに傷が付き、発火や感電の原因になります。

- 液晶パネルから漏れた液体（液晶）には触れない
誤って液晶パネルの表示面を破損し、中の液体（液晶）が漏れた場合には、液体を口に入ったり、吸い込んだり、皮膚につけないようにしてください。万が一、液体が目や口に入った場合は、すぐに水で5分以上洗い、医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣服に液体が付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。そのまま放置すると、皮膚や衣服を傷めます。

- 眼精疲労を防ぐため、以下を守る
ディスプレイを見る作業を続けるときは、ディスプレイ画面の明るさ、書類およびキーボード面における明るさと画面の明るさの差をなるべく小さくしてください。また、連続作業をするときは、1時間に10分から15分程度の休憩をとってください。長時間ディスプレイを見続けると、眼に疲労が蓄積されます。
- 人が通行するような場所に設置しない
足を引っ掛けると、けがの原因になります。
- 液晶パネルの表面を傷つけない
●画面を強く押したり、衝撃を与えたりしない
画面に力が加わると、破損や故障、けがの原因となることがあります。
- 前面を先のとがった物で押さない
破損や故障、けがの原因となる場合があります。
- 壊れものであったり、たいたいたりしない
破損しけがの原因となることがあります。
- 電源を入れた状態で、おあけ、横たおし、逆さまにして使わない
内部に熱がこもり、発火の原因になります。

